

2016 中野区区民意識・実態調査

《概要版》

調査の概要

〔調査の項目〕

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 定住意向 | 2 生活環境の満足度について |
| 3 社会や地域との関わりについて | 4 中野駅周辺について |
| 5 商店街へ行く頻度について | 6 公園・広場等の利用について |
| 7 地震災害への対策について | 8 人権・男女共同参画について |
| 9 医療保険制度について | 10 区政情報の入手について |
| 11 外国の方との交流・外国人旅行者について | 12 施策への評価・要望について |

〔調査対象〕 中野区民で 20 歳以上の男女個人

〔標本数〕 2,000 人

〔有効回収数〕 1,228 人 (61.4%)

〔抽出方法〕 層化二段無作為抽出法

〔調査方法〕 郵送配布・郵送回収

〔調査期間〕 平成 28 年 9 月 14 日 (水) ～ 平成 28 年 10 月 12 日 (水)

結果の見方

- (1) (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を 1 つだけ選ぶ設問です。
- (2) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が 100% に満たない、または上回る場合がある。
- (3) 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべて比率を合計すると 100% を超えることがある。
- (4) グラフに表記されている「n=*」(*は数字) は、対象の母数を表している。

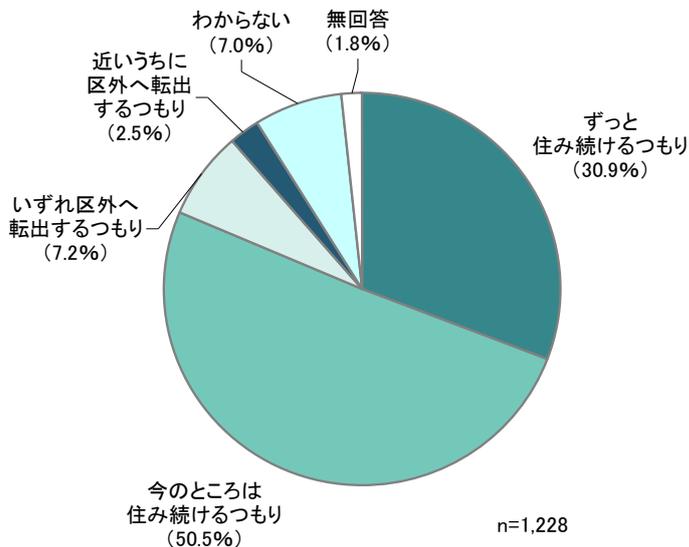
2017 年 (平成 29 年) 2 月

中 野 区

1 定住意向について

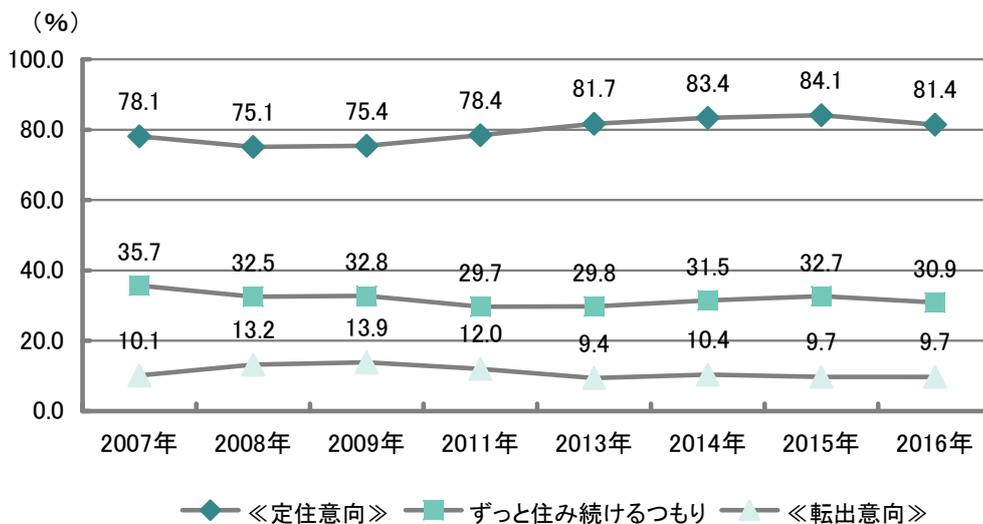
1 定住・転出意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(30.9%)、「今のところは住み続けるつもり」(50.5%)を合わせた《定住意向》は約8割となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(7.2%)、「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.5%)、「わからない」(7.0%)、「無回答」(1.8%)となっている。



<参考>経年調査との比較

定住・転出意向の推移をみると、《定住意向》は2009年から増加傾向にあったが、今回は2015年より減少し81.4%となっている。また、《転出意向》は2015年と同水準になっている。

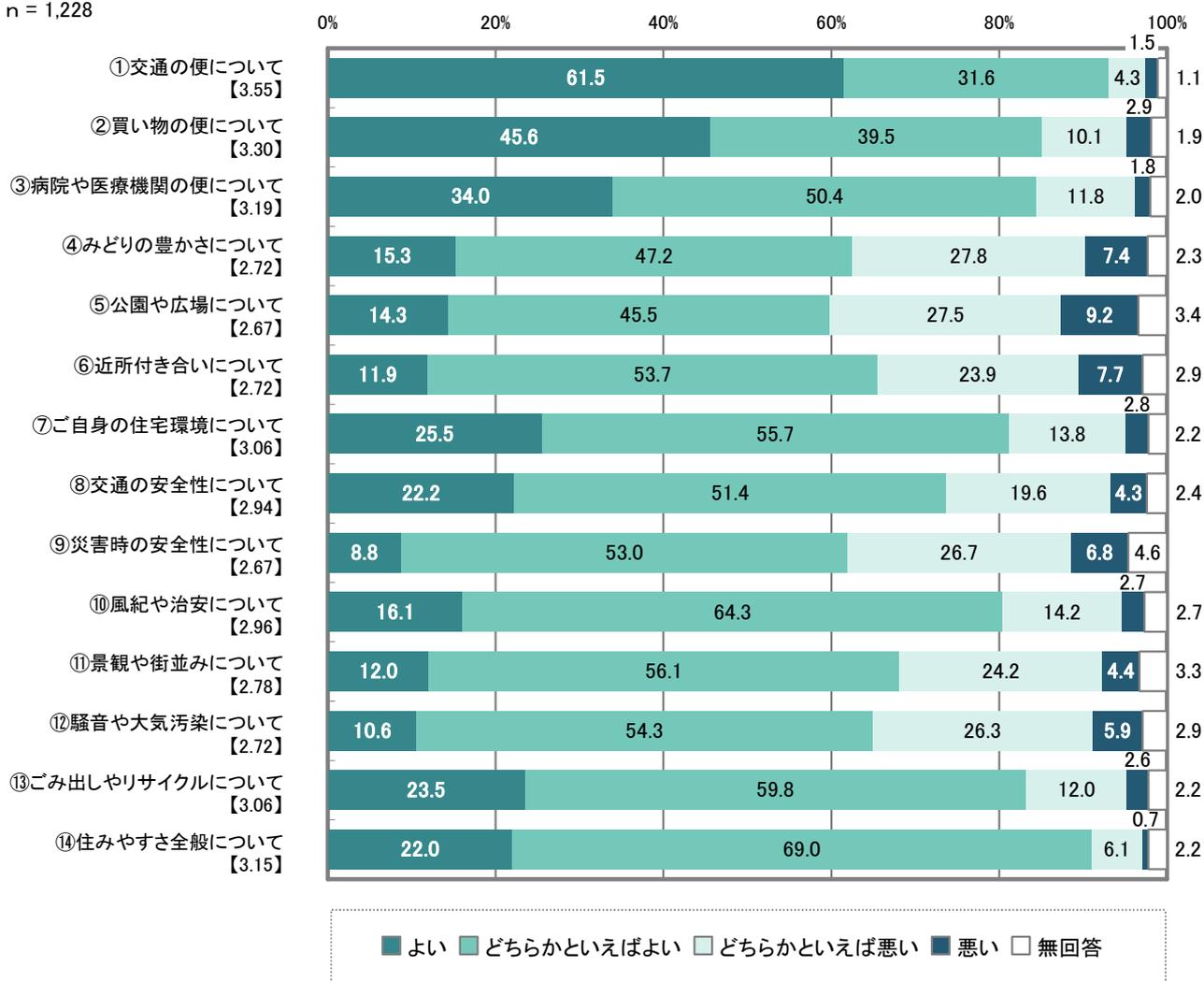


2 生活環境の満足度について

1 生活環境の満足度

自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか14項目にわたり聞いたところ「よい」と「どちらかといえればよい」を合わせた《よい評価》では「①交通の便」(93.1%)と最も高く、次いで「⑭住みやすさ全般について」(91.0%)、「②買い物の便について」(85.1%)となっている。一方、「どちらかといえれば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》では「⑤公園や広場について」(36.7%)と最も高く、次いで「④みどりの豊かさについて」(35.2%)、「⑨災害時の安全性について」(33.5%)となっている。

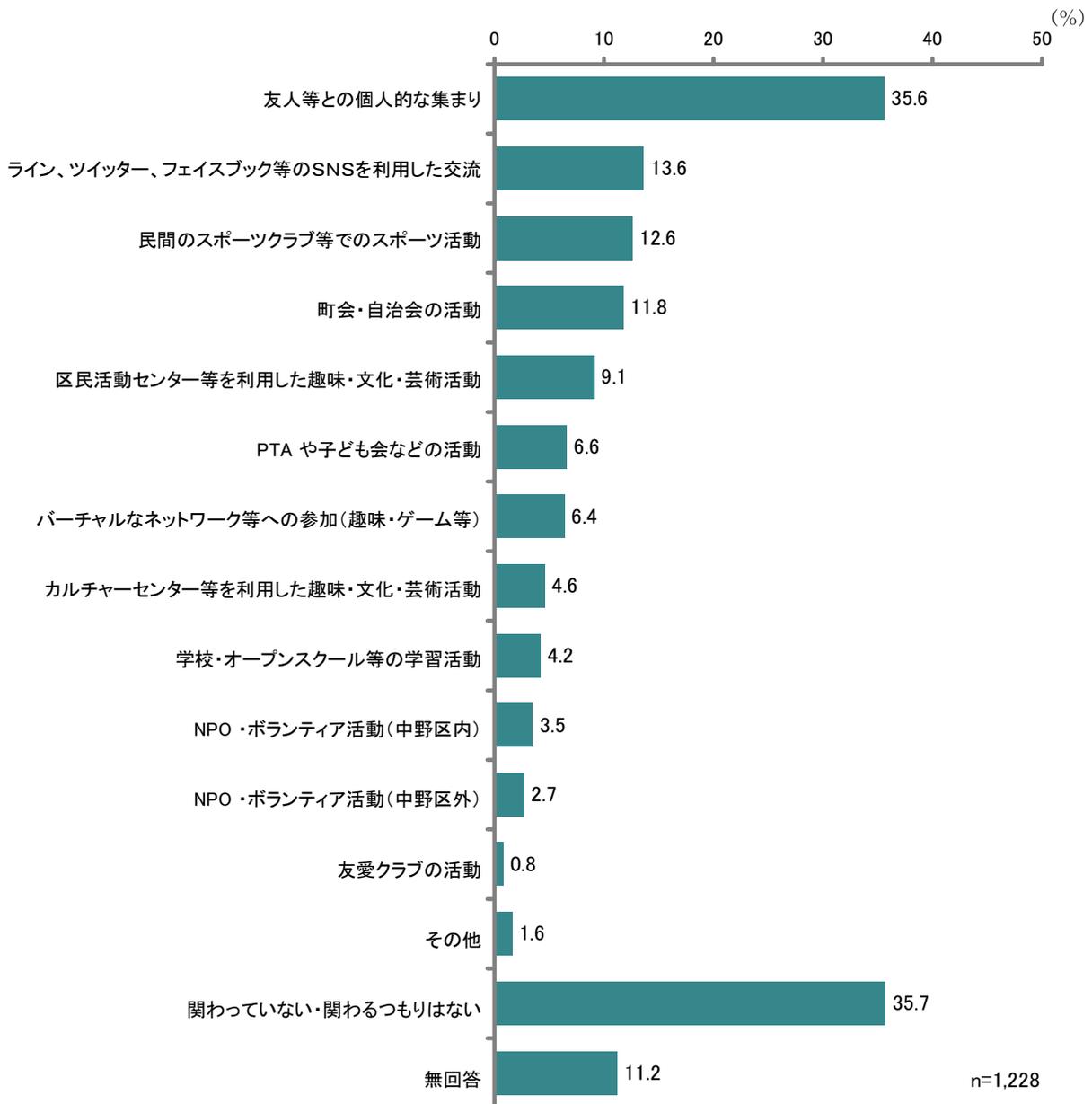
n = 1,228



3 社会や地域との関わりについて

1 地域活動の状況

最近1年間に、仕事以外で社会や地域とどのような関わりがあったか（複数回答）聞いたところ、「関わっていない・関わるつもりはない」（35.7%）が最も高く、次いで「友人等との個人的な集まり」（35.6%）、「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」（13.6%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（12.6%）、「町会・自治会の活動」（11.8%）となっている。

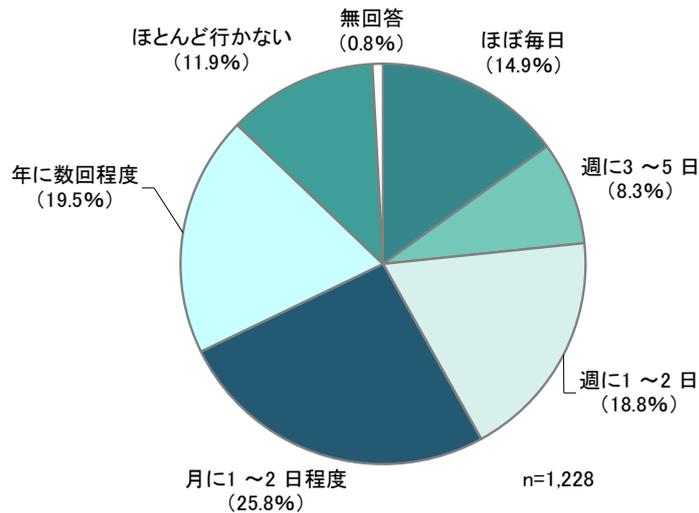


4 中野駅周辺について

1 中野駅周辺の利用頻度

中野駅周辺へ行く頻度を聞いたところ、「月に1～2日程度」(25.8%)が最も高く、次いで「年に数回程度」(19.5%)、「週に1～2日」(18.8%)となっている。

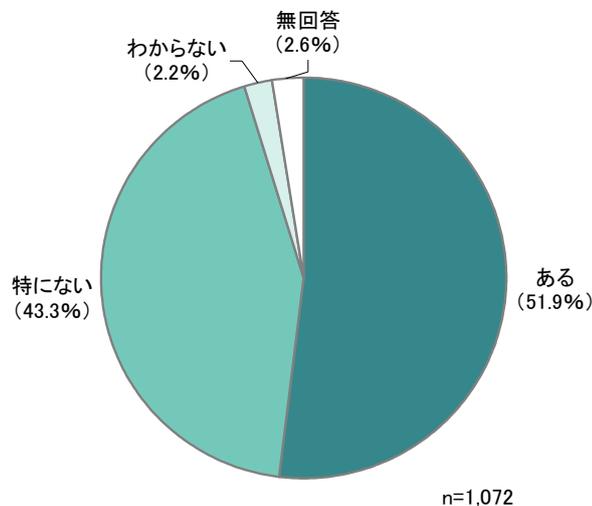
「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」を合わせた《週1回以上》行く人は4割強である。



2 中野駅周辺の利用で不便・不満の有無

中野駅周辺を利用する人に不便や不快など不満の有無を聞いたところ、「ある」(51.9%)が最も高く、次いで「特にない」(43.3%)となっている。

中野駅周辺の利用に不満を感じている人に、不満の内容(複数回答)を聞いたところ、「自転車と歩行者が混在し危険を感じる」(52.0%)が最も高く、次いで「混雑していて歩きにくい」(50.0%)、「道路が狭い」(33.8%)、「自転車マナーが悪い人がいる」(32.2%)、「目的の場所から駐輪場が遠い」(30.9%)となっている。

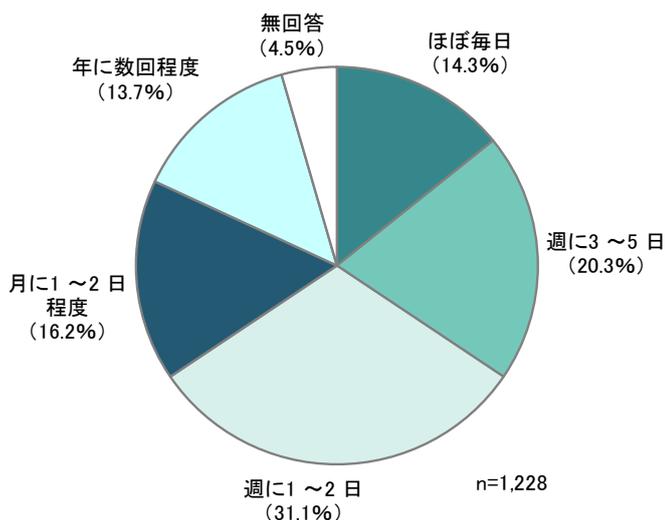


5 商店街へ行く頻度について

1 商店街の利用頻度

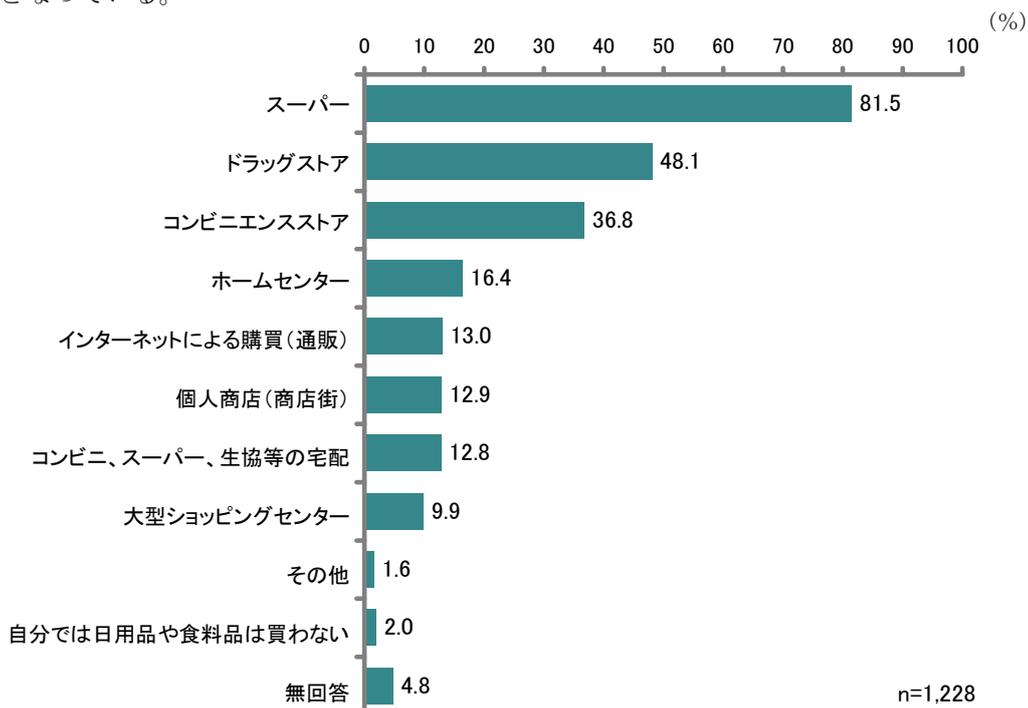
商店街の利用頻度を聞いたところ、「週に1～2日」(31.1%)が最も高く、次いで「週に3～5日」(20.3%)、「月に1～2日程度」(16.2%)、「ほぼ毎日」(14.3%)、「年に数回程度」(13.7%)となっている。

「ほぼ毎日」と「週に3～5日」を合わせた《週3日以上》は34.6%となっている。



2 日用品・食料品の購入店舗

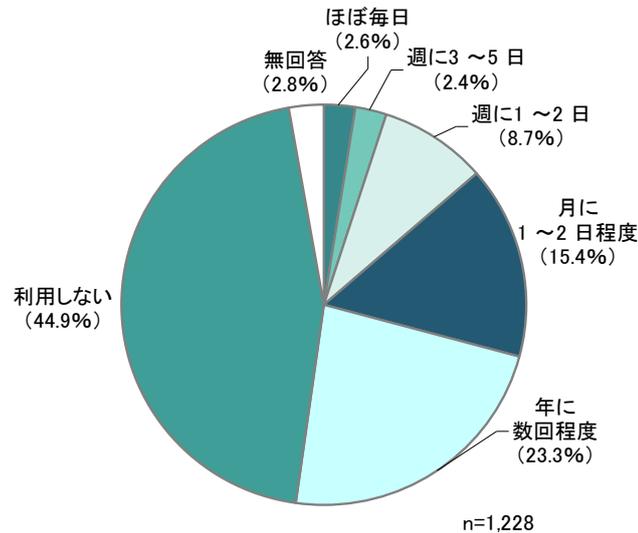
日用品や食料品の購入場所(複数回答)を聞いたところ、「スーパー」(81.5%)が最も高く、次いで「ドラッグストア」(48.1%)、「コンビニエンスストア」(36.8%)となっている。また、「個人商店(商店街)」は12.9%となっている。



6 公園・広場等の利用について

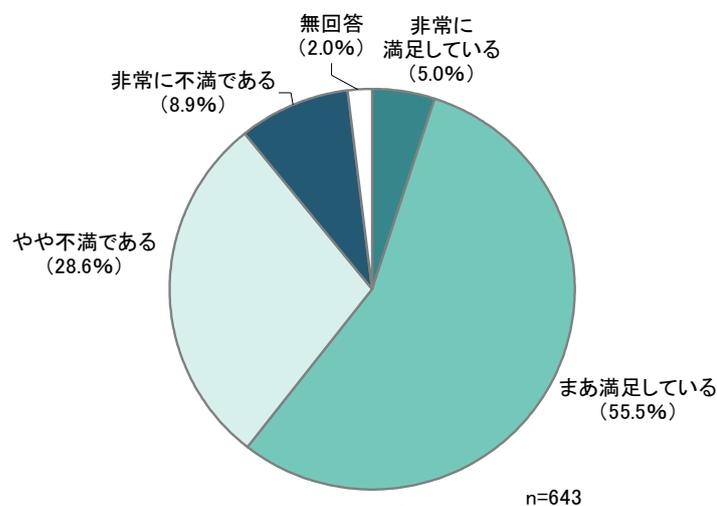
1 区内の公園や広場の利用状況

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用しない」(44.9%)が最も高く、次いで「年に数回程度」(23.3%)、「月に1~2日程度」(15.4%)となっている。



2 区内の公園や広場の満足度

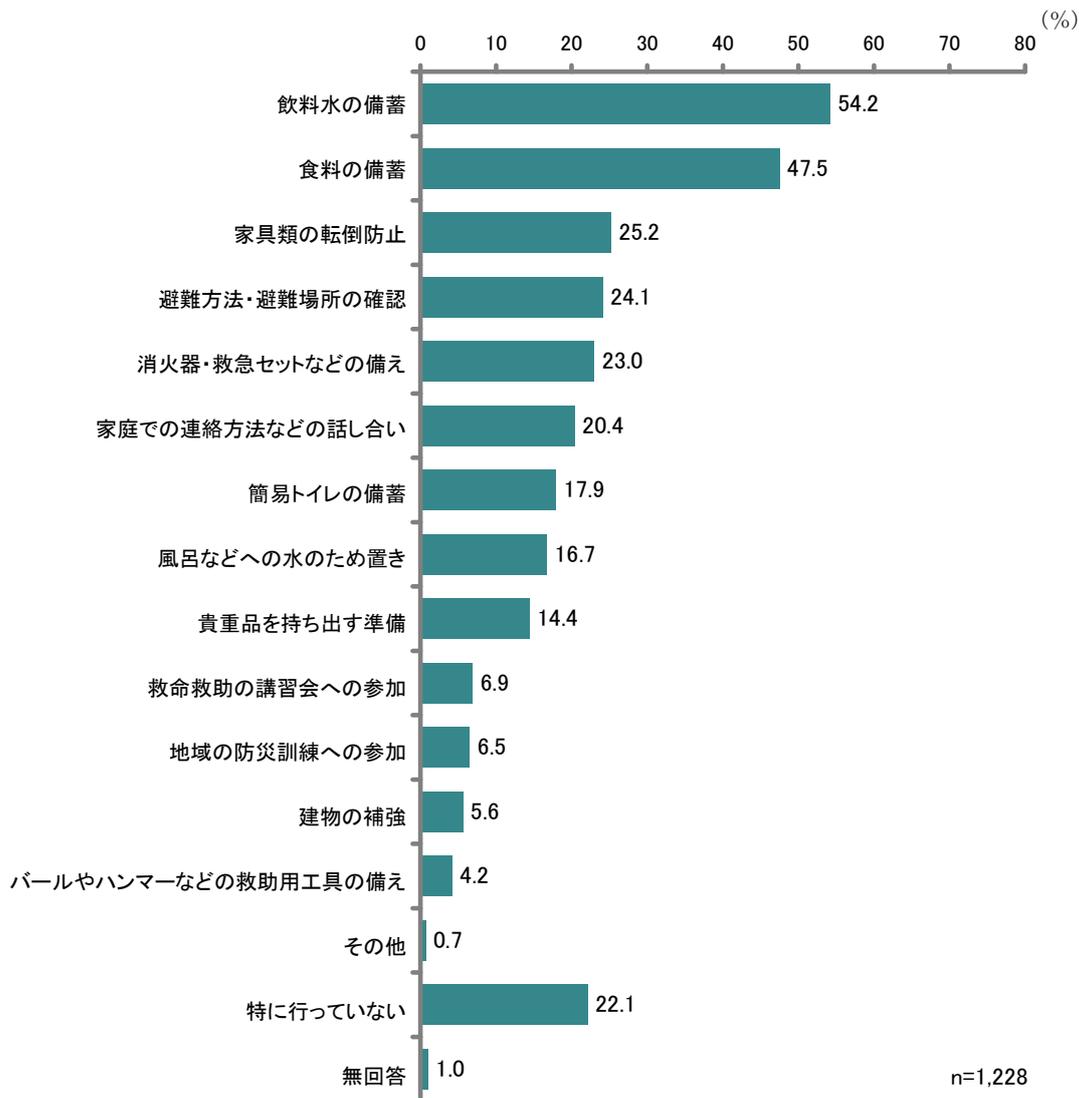
公園や広場の利用者に満足度を聞いたところ、「非常に満足している」(5.0%)、「まあ満足している」(55.5%)を合わせた《満足》は約6割である一方、「やや不満である」(28.6%)と「非常に不満である」(8.9%)を合わせた《不満》は4割弱となっている。



7 地震災害への対策について

1 家庭での備え

地震災害に備えた家庭内での対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（54.2%）が最も高く、次いで「食料の備蓄」（47.5%）、「家具類の転倒防止」（25.2%）、「避難方法・避難場所の確認」（24.1%）、「消火器・救急セットなどの備え」（23.0%）となっている。一方、「特に行っていない」（22.1%）では2割以上の人が対策を講じていない。

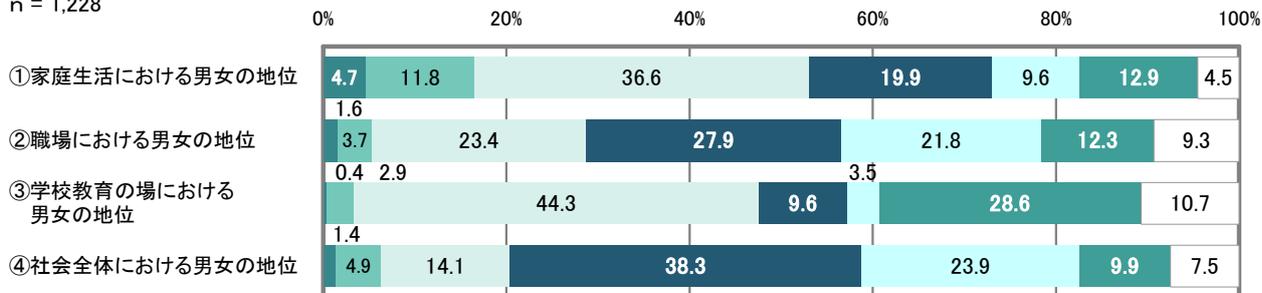


8 人権・男女共同参画について

1 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位が平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは、『学校教育の場』(44.3%)であり、次いで『家庭生活』(36.6%)、『職場』(23.4%)、『社会全体』(14.1%)となっている。

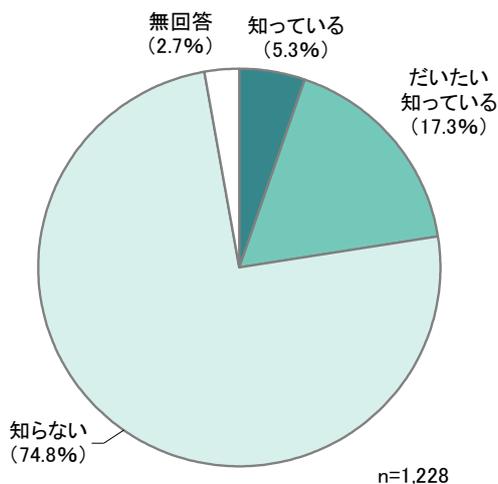
n = 1,228



■ 女性が優遇
 ■ やや女性が優遇
 ■ 平等
 ■ やや男性が優遇
■ 男性が優遇
 ■ わからない
 ■ 無回答

2 人権擁護委員の認知度

人権擁護委員の認知度を聞いたところ、「知っている」(5.3%)と「だいたい知っている」(17.3%)を合わせた「知っている」が約2割となっている。

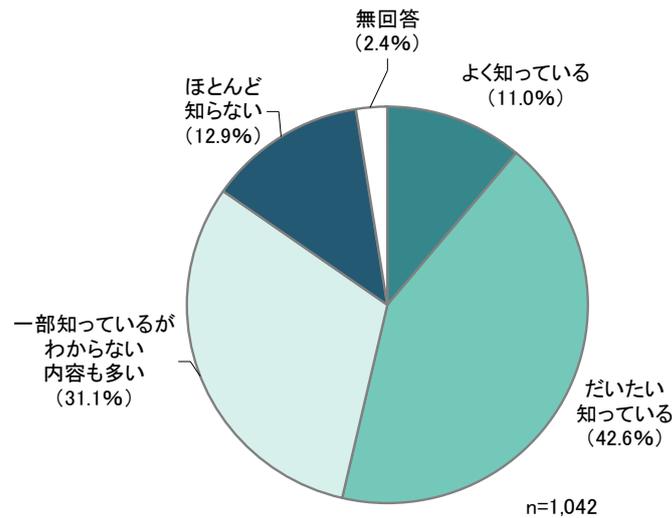


9 医療保険制度について

1 国民健康保険のしくみの周知度

74歳以下の人に国民健康保険のしくみをどの程度知っているかを聞いたところ、「だいたい知っている」(42.6%)が最も高く、次いで「一部知っているがわからない内容も多い」(31.1%)、「ほとんど知らない」(12.9%)、「よく知っている」(11.0%)となっている。

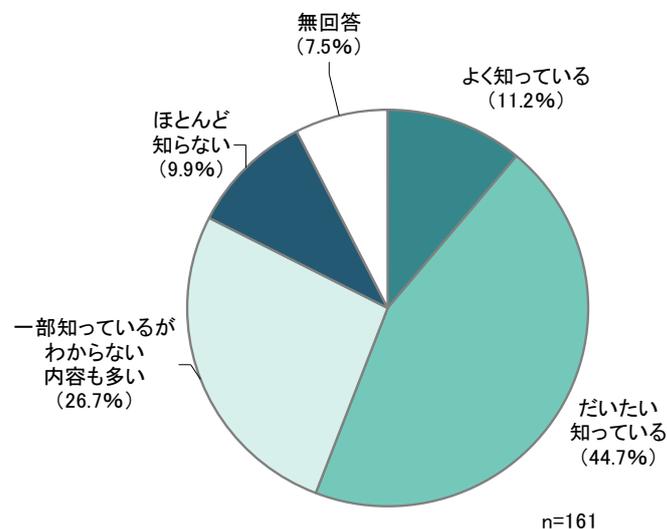
「よく知っている」、「だいたい知っている」、「一部知っているがわからない内容も多い」を合わせた《知っている》は8割半ばと高くなっている。



2 後期高齢者医療制度の周知度

75歳以上の人に、後期高齢者医療制度のしくみについてどの程度知っているかを聞いたところ、「だいたい知っている」(44.7%)が最も高く、次いで「一部知っているがわからない内容も多い」(26.7%)、「よく知っている」(11.2%)、「ほとんど知らない」(9.9%)となっている。

「よく知っている」、「だいたい知っている」、「一部知っているがわからない内容も多い」を合わせた《知っている》は約8割と高くなっている。

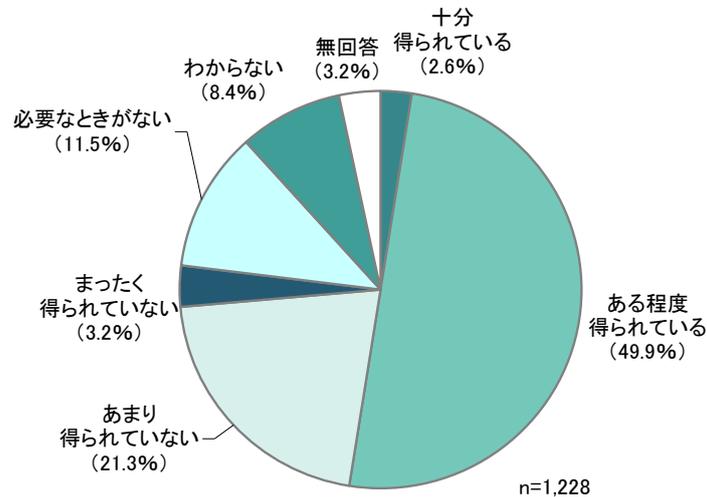


10 区政情報の入手について

1 区政情報の入手状況

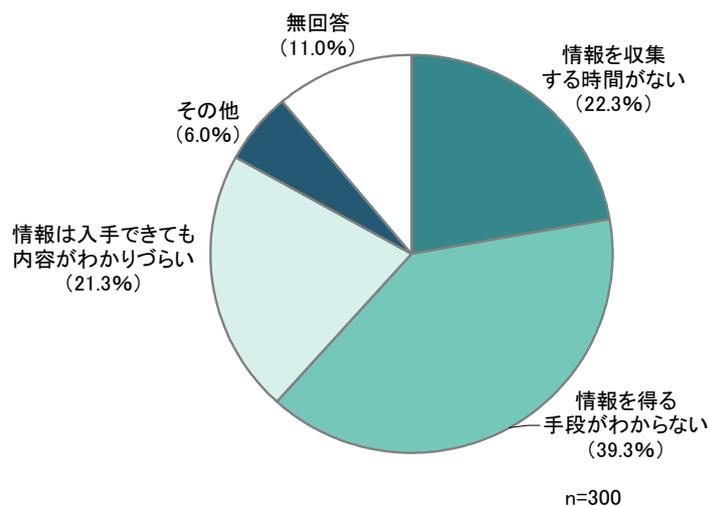
必要とする中野区政の情報が得られているかを聞いたところ、「ある程度得られている」(49.9%)が最も高く、次いで「あまり得られていない」(21.3%)、「必要なときがない」(11.5%)、となっている。

「十分得られている」、「ある程度得られている」を合わせた《得られている》は約5割となっている。



2 区政情報が得られない理由

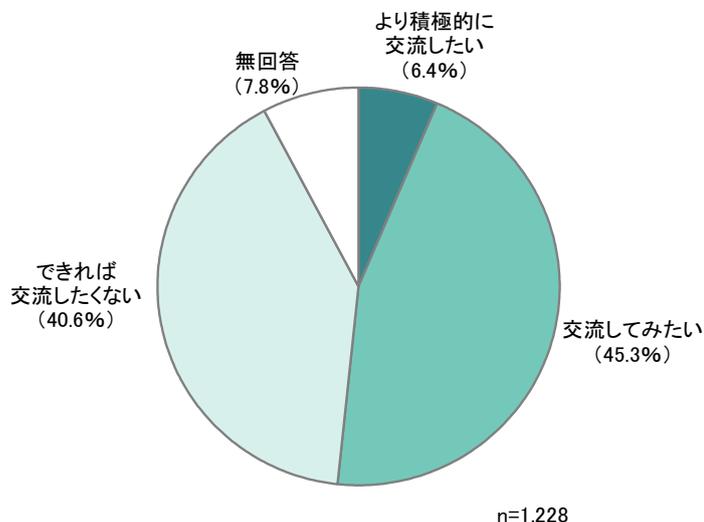
中野区政情報を得られていない人に、その理由を聞いたところ、「情報を得る手段がわからない」(39.3%)が最も高く、次いで「情報を収集する時間がない」(22.3%)、「情報は入手できて内容がわかりづらい」(21.3%)となっている。



11 外国の方との交流・外国人旅行者について

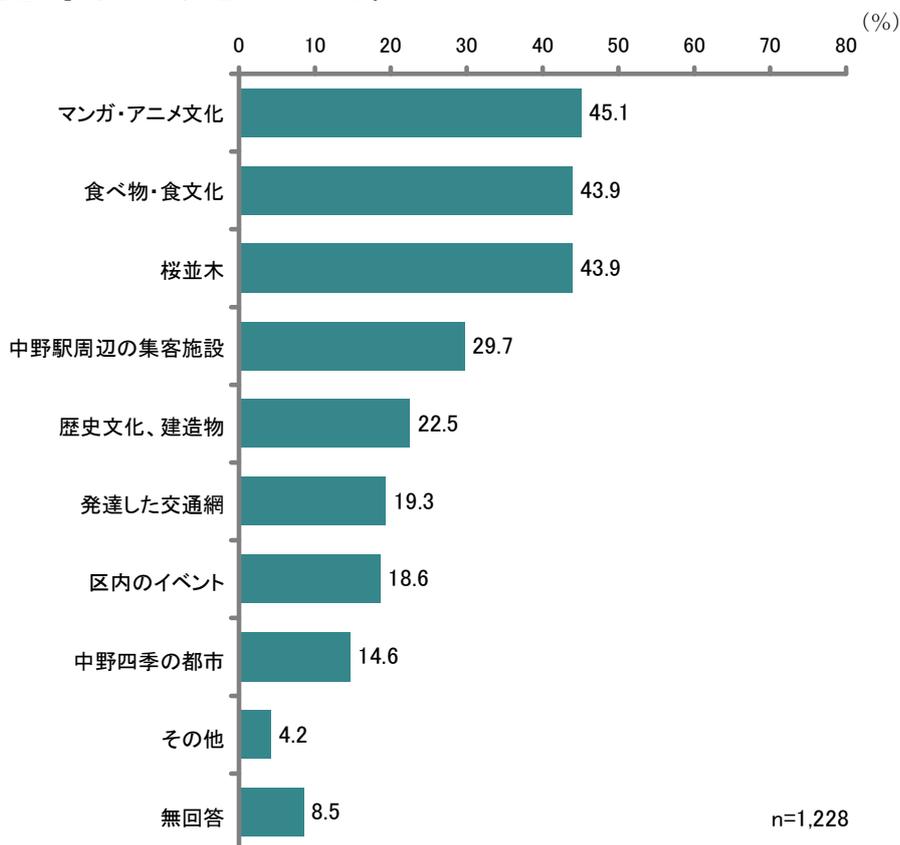
1 外国人旅行者との交流

外国人旅行者との交流についての意向を聞いたところ、「交流してみたい」(45.3%)が最も高く、次いで「できれば交流したくない」(40.6%)、「より積極的に交流したい」(6.4%)となっている。



2 外国人旅行者へのアピールポイント

外国人旅行者へのアピールポイント（複数回答）を聞いたところ、「マンガ・アニメ文化」(45.1%)が最も高く、次いで「食べ物・食文化」(43.9%)、「桜並木」(43.9%)、「中野駅周辺の集客施設」(29.7%)、「歴史文化、建造物」(22.5%)となっている。

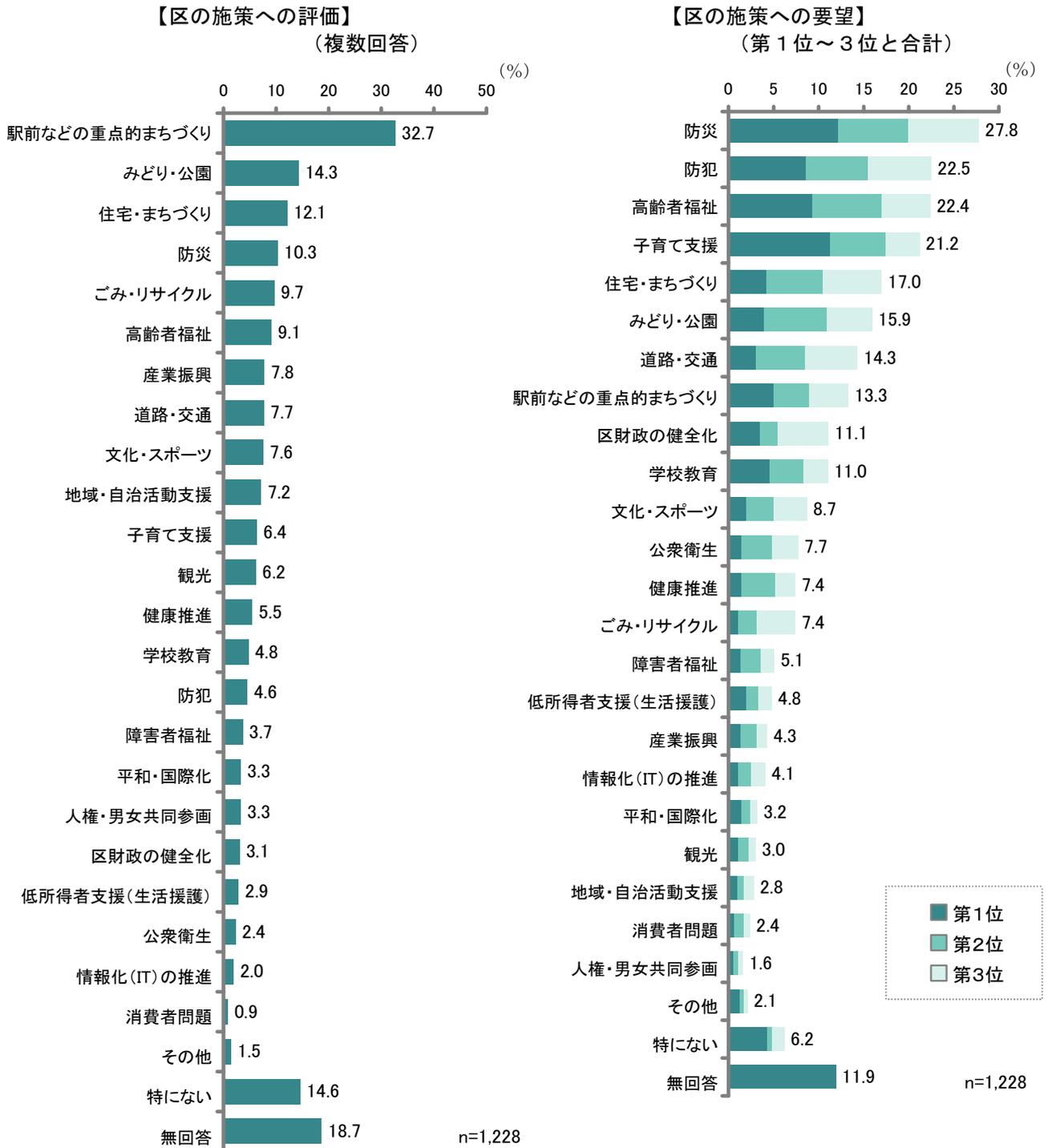


12 施策への評価・要望について

1 区の施策への評価と要望

区が特に力を入れていると評価できる施策（複数回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（32.7%）が最も高く、次いで「特にない」（14.6%）、「みどり・公園」（14.3%）、「住宅・まちづくり」（12.1%）、「防災」（10.3%）となっている。

今後特に力を入れてほしい施策について、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計では「防災」（27.8%）が最も高く、次いで「防犯」（22.5%）、「高齢者福祉」（22.4%）となっている。

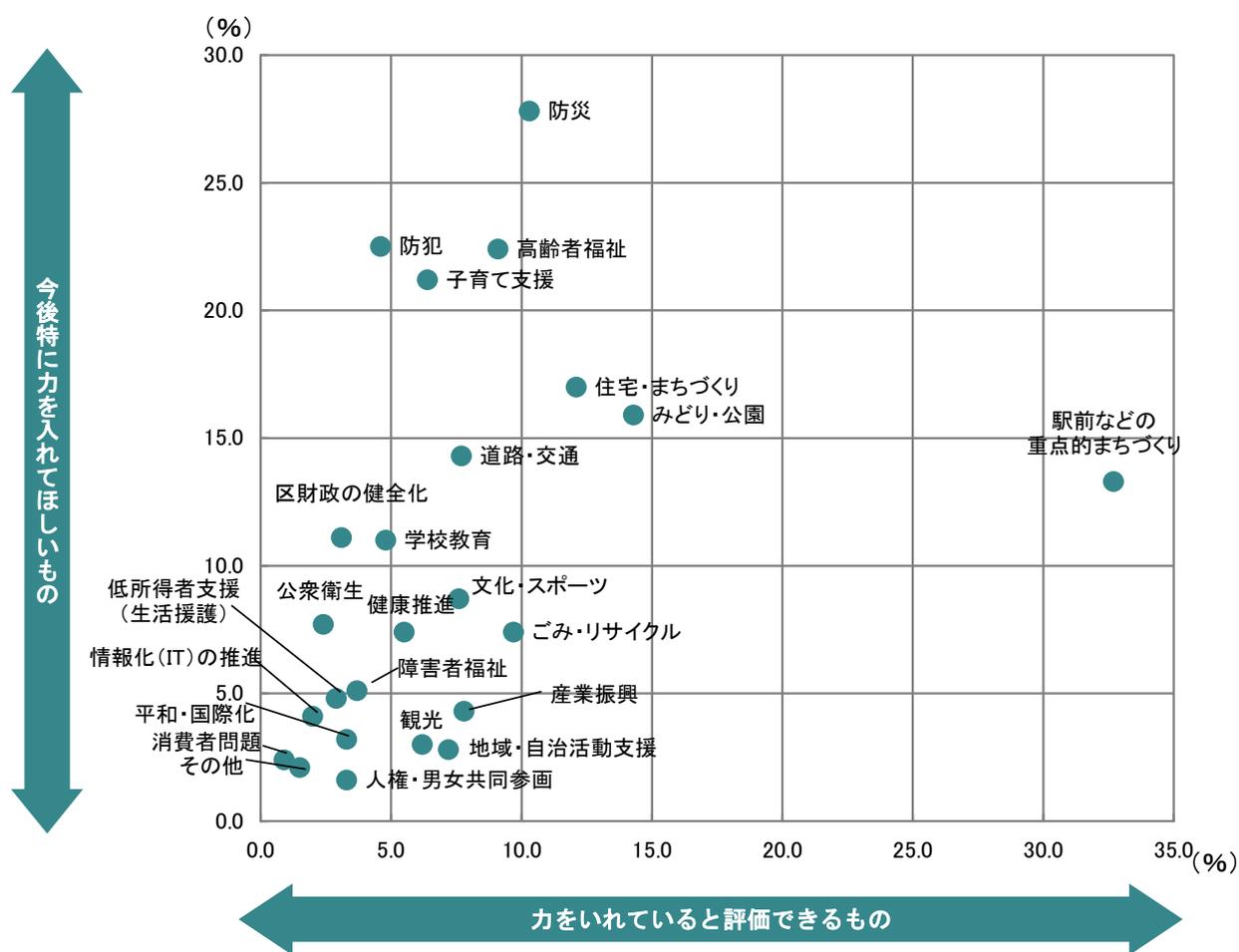


2 区の施策への評価と要望（散布図）

区の施策への評価と要望の関係をみるために「力をいれていると評価できるもの」を横軸に「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、23 項目とその他の位置をあらわしたのが下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」は低く、「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別でみると、左上には「高齢者福祉」、「防災」、「防犯」、「子育て支援」が位置づけられている。また、右下には「駅前などの重点まちづくり」が位置づけられている。



3 区の施策への要望（順位の変化）

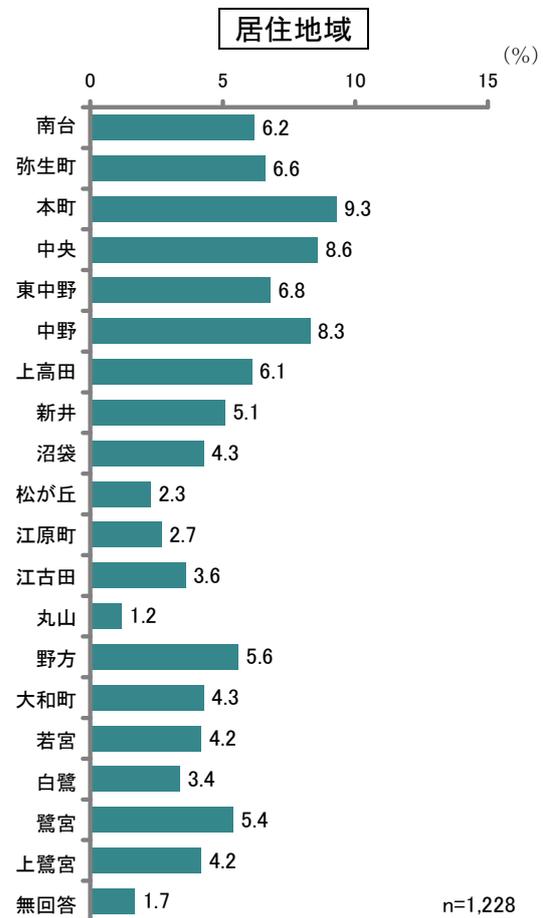
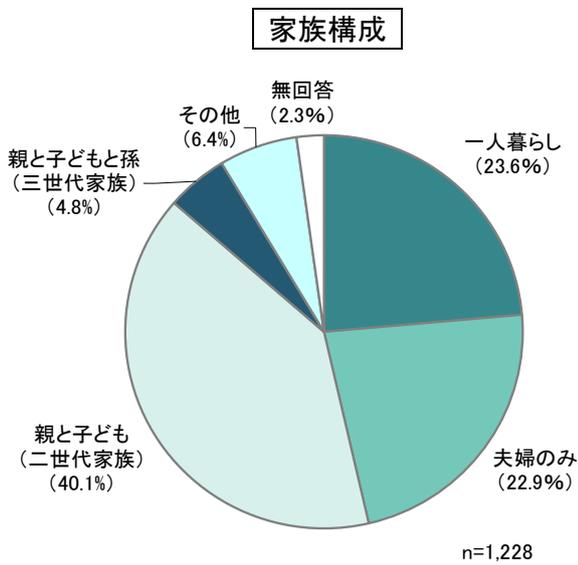
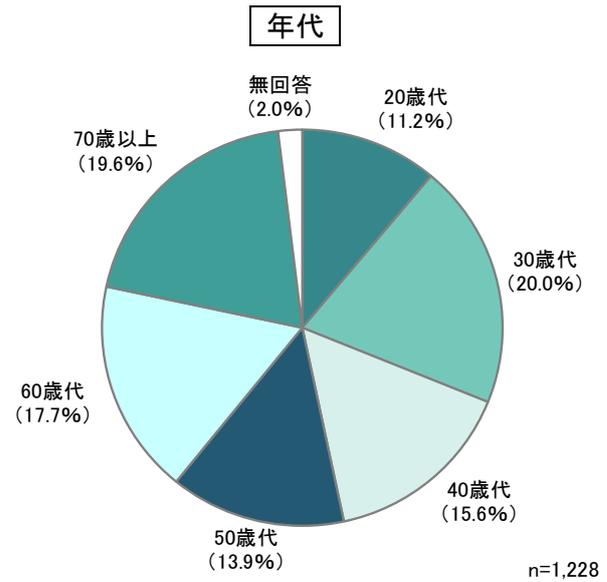
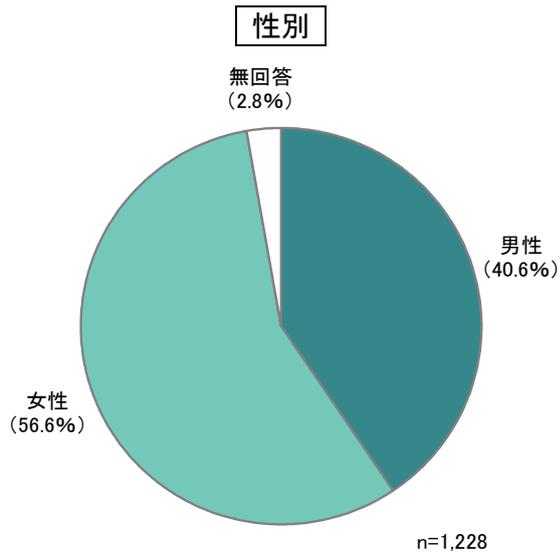
過去7年および今回の施策要望の上位10位までの推移をみると、上位3施策は毎回上位にあがっており、今回の結果では上位4施策に変動はみられない。また、前回から調査項目に追加された「区財政の健全化」が入っている。

上段は施策、下段は回答割合（％）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2007 n=1,104	防犯 28.4	高齢者福祉 27.4	防災 25.5	みどり・環境 18.8	健康 15.4	子育て支援 13.2	ごみ対策 12.1	公園整備 11.7	道路整備 11.1	低所得者支援 9.8
2008 n=887	高齢者福祉 26.4	防災 26.3	防犯 26.0	みどり・公園 18.3	道路・交通 16.9	環境改善 14.9	ごみ対策 12.7	子育て支援 12.4	健康 10.7	学校教育 9.7
2009 n=1,019	防犯 28.0	高齢者福祉 25.7	みどり・公園 21.4	道路・交通 18.0	防災 17.3	子育て支援 14.8	健康 12.6	環境改善 10.4	子ども育成 9.7	ごみ対策 9.6
2011 n=1,395	防災 28.9	防犯 22.9	高齢者福祉 22.8	みどり・公園 21.9	道路・交通 16.6	子育て支援 16.2	環境改善 10.8	健康 10.8	低所得者支援 10.5	住宅・まちづくり 10.2
2013 n=1,436	防災 36.2	高齢者福祉 31.6	防犯 21.2	子育て支援 19.4	みどり・公園 17.2	道路・交通 17.0	駅前などの重点的まちづくり 13.3	健康推進 12.2	学校教育 12.1	住宅・まちづくり 12.1
2014 n=1,249	防災 31.5	高齢者福祉 27.1	防犯 20.7	子育て支援 20.7	道路・交通 19.9	みどり・公園 17.6	駅前などの重点的まちづくり 14.8	学校教育 12.6	住宅・まちづくり 10.4	産業振興 9.9
2015 n=1,277	高齢者福祉 27.0	防災 25.7	防犯 22.2	子育て支援 21.0	みどり・公園 17.8	道路・交通 15.6	駅前などの重点的まちづくり 13.2	学校教育 12.5	区財政の健全化 11.1	住宅・まちづくり 10.4
2016 n=1,228	防災 27.8	防犯 22.5	高齢者福祉 22.4	子育て支援 21.2	住宅・まちづくり 17.0	みどり・公園 15.9	道路・交通 14.3	駅前などの重点的まちづくり 13.3	区財政の健全化 11.1	学校教育 11.0

* 同率（％）の場合は、同順位である。

回答者属性



2016年中野区区民意識・実態調査報告書
 平成29年2月発行 文書番号28中政企第649号
 発行：中野区政策室企画分野政策情報担当
 東京都中野区中野4-8-1
 電話 03-3228-8892 (直通)